

# サンクチュアリセンターニュースvol.92

平成30年2月号

## 第27回伊豆沼・内沼の自然フォトコンテスト最優秀賞(宮城県知事賞)



「内沼の夕暮れ時」 三浦明彦（敬称略） 登米市中田町

### ～写真展が開催されます～

#### 【展示場所と期間】

H30/2/1～H30/3/31

H30/5/2～H30/5/30

H30/6/1～H30/6/29

H30/7/3～H30/7/27

H30/8/1～H30/8/31

宮城県伊豆沼・内沼サンクチュアリセンター

登米市伊豆沼・内沼サンクチュアリセンター

登米市役所一階ロビー

栗原市役所一階ロビー

栗原市サンクチュアリセンターつきだて館

全作品展示

入選作品展示

入選作品展示

入選作品展示

入選作品展示

## 北海道滝川高校の実習



ドローン実習の様子

スーパーサイエンスハイスクールに指定されている北海道滝川高校の高校生10名が伊豆沼で実習を行いました。はじめに伊豆沼・内沼の自然や保全などについて講義を受けたあと、野外でドローンの実習を行いました。ドローンは鳥類のカウントなど、生物のモニタリングへの活用が期待されている新技術です。おそろおそろの試験飛行ながら、高校生たちはすぐに慣れたようでした。

## 沼のヨシを刈り取って利用しませんか？



財団では、希望される方のヨシ刈りを受け付けております。ヨシの刈取りは、沼の水質浄化などにも繋がる活動です。これまで、いろいろな方々が、茅葺(かやぶき)や葦細工、畑へのすき込みなどに使うため、沼のヨシを利用してきました。

沼のヨシの利用にあたっては、いくつかお願いすることがございますので、利用をご希望の方は、財団(0228-33-2216)まで、どうぞご連絡下さい。

## 第12回 伊豆沼・内沼研究集会を開催します

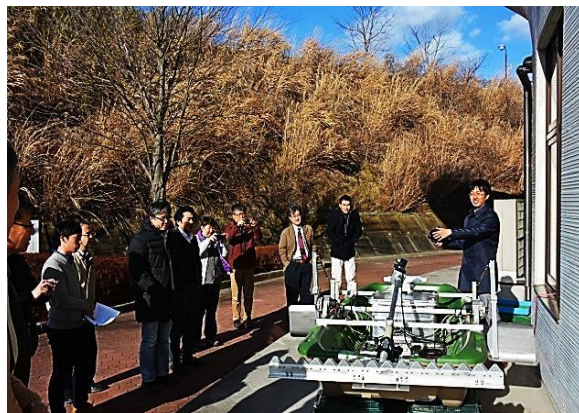
2月17日に12回目となる伊豆沼・内沼研究集会を開催します。今回は、ハスの葉の上で暮らすクモや食虫植物といった、ユニークな生態を持つ生物についての発表が行われる予定です。水鳥や魚だけではない、新たな沼の側面に目を向けた研究者の発表をお楽しみ下さい。また沼の底に溜まった汚れを減らす方法など、沼の水環境についても発表があります。その他にも、東京大学や東北大学などの研究室による、濁った水中で生き物を見分けるための音響ソーナーの技術開発、エビの食べ物を知るために特殊な分析機器を使った研究などについて、発表が行われる予定です。どなたでも無料で参加できますので、お気軽にお越しください。

開催日時:平成30年2月17日(土)13時30分~17時00分

場所:宮城県伊豆沼・内沼サンクチュアリセンター研修室

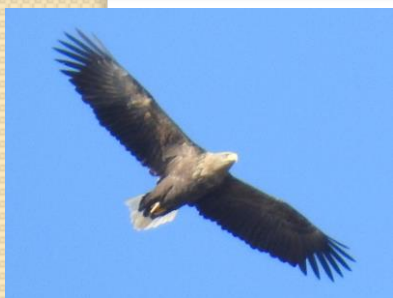


東北大学との共同研究の発表もあります。



昨年度、好評だったロボットボート

## 伊豆沼・内沼生き物図鑑 オジロワシ *Haliaeetus albicilla*



成鳥の尾が純白であることが名前の由来です。大型のワシ類で、翼を広げると2m以上もあります。決して小さい部類ではないカラスも、このワシと並ぶとずいぶん小さく見えてしまいます。日本では主に冬鳥として北海道を中心に見られますが、伊豆沼・内沼では毎年数羽が飛来します。上空を飛んでいるところを見かけることが多いですが、厳寒期には凍った水面の上に降りていることもよくあります。

### <事務局>

〒989-5504宮城県栗原市若柳字上畑岡敷味17-2

(公財)宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団

Tel:0228-33-2216 Fax:0228-33-2217

ホームページ:<http://izunuma.org/>

E-mail:[izunuma@circus.ocn.ne.jp](mailto:izunuma@circus.ocn.ne.jp)